

全国统一要求（抜粋）

1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円



全ての受注者に12条団体等の使用促進措置を徹底して下さい。(7月12日宮城県庁)



直接ダンプ労働者への単価調査をおこない改善指導をしてください。(7月21日関東地方整備局)



ダンプに支払われている単価と積算単価の開きを改善してください。(8月9日静岡県庁)



ダンプに支払われている単価・労働実態を組合員が説明しました。(7月19日広島市)

第23回全国キャラバン 各発注当局へ要請行動

回答

組合の要請にもとづき 現場で単価調査を実施

全ダンプ

7月～8月にかけて全国各地で第23回目の全国ダンプキャラバン行動に取り組みました。国は4年間連続で積算労働単価の引き上げなど、ダンプ及び建設労働者の賃金・単価や労働条件を改善し、担い手の確保を発注者責任で推進する政策を取ってきました。しかし、現場における単価や賃金の

可決成立しました。10月以降の6億円以上の工事が対象になります」

「毎年各事務所に12条団体等の加入促進について指導を徹底するよう文書を配布し、関係職員に対する周知徹底をはかり、受注者へ指導をしています」

「今年2月に県職員が現場調査（県内9の土木事務所67現場）をダンプからヒアリング（個人持ち44人、運転手23人）単価は持ち込み三九、五三四円前年比一、一〇二円増運転手一四、八一七円前年比四〇〇円減」

「10トンダンプの積算単価は、直工費四六、九〇〇円、工事原価は諸経費を含めると

「平成28年度7月期のダンプの直接工事費は五〇、六〇〇円です。全ての工事ではないが構造改善実態調査を毎年おこない、賃金・単価の実態把握に努めています」

「現場説明書に記載して指導しています。また、施工計画書提出の際にも直接指導し

「特記仕様書に記載するほか、工事施工にあたって留意事項を配布して周知を図っています」

（裏面に続く）

（栃木県）

（茨城県）

（静岡県）

（福島県）

（沖縄県）

「今年2月に県職員が現場調査（県内9の土木事務所67現場）をダンプからヒアリング（個人持ち44人、運転手23人）単価は持ち込み三九、五三四円前年比一、一〇二円増運転手一四、八一七円前年比四〇〇円減」

「平成28年度7月期のダンプの直接工事費は五〇、六〇〇円です。全ての工事ではないが構造改善実態調査を毎年おこない、賃金・単価の実態把握に努めています」

「現場説明書に記載して指導しています。また、施工計画書提出の際にも直接指導し

「特記仕様書に記載するほか、工事施工にあたって留意事項を配布して周知を図っています」

（裏面に続く）

（群馬県）

（岩手県）

（愛知県）

（東北地方整備局）

（関東地方整備局）

（広島県）



県内における過積載の根絶とダンプ単価の改善指導を強化してください。(7月20日沖縄総合事務局)



団結を強化し、要求闘争など各種の活動をみんなで盛り上げよう (7月10日埼玉県戸田市内)

安心して働ける現場を 力を合わせて作り出そう

要請行動の成果を 必ず闘いに活かそう

「県の現場でダンプ単価の原価割れの連絡があれば調査します。受注者などへ指導方法については検討します」
(徳島県)

「現場の実態を改善させるためにもタコメーターの点検を実施します」
(静岡県)

「今年6月から低入札業者は全て第三者(社労士)に支払い状況を報告してもらおう事にしており、2回やると『工事完了まで』指名に入れない仕組みにしています」
(広島県)

「払い手三法の改正にとりまわらない、賃金の適正な支払いとあわせて労働環境の改善に努めている」
(沖縄県)

**1人親方労災保険加入
建退共証紙の貼付促進**
「1ヶ月以内に証紙購入報告書を確認。貼付実績報告書を提出させています」
(仙台市)

「労働局の担当職員が発注者会議の場において、特別加入労災加入についての周知を取り組み始めています」
(宮崎県)

「6月の監督会議で組合からの要請を受けてダンプに検体共証紙を貼る様に指導しました」
(岩手県)

**定期大会
仲間の団結をさらに強化し
働きやすい環境めざそう**
7月10日(日)、埼玉県戸田市において「第16回埼玉ダンプ南部支部定期大会」を開催し、77名の仲間が参加しました。

「昨年10月から主任監督員の会議で受注者に対して4点セットに建退共証紙の写しを加えるよう提案しました」
(四国地方整備局)

「後日話し合い、どのような事が出来るか検討したい」
(埼玉県)

主催者あいさつに立った三與木委員長は「合材の仲間は春闘に取り組み、諸要求の実現に向け奮闘した。残土の仲間は就労闘争を中心に仕事の確保にはげみ、結束してきている。これも日々の運動の成果です。引き続き私たちが働きやすい環境を作るためにがんばっていきましょう」と参加者に力強く呼びかけました。
矢具野書記長が運動方針案を提案した後に、討論では活発な意見が出されました。合材職場の闘いの経過、就労闘争・就労学習会などの報告や、埼玉県本部のソフトボール大会の報告では「次はみんなで参加しよう」と、次回にかけの意気込みなども話されました。報告を受け、矢具野書記長は「組合があるからいまの状況より悪化しないとの考え方もあるが、それだけでは不十分です。労働組合らしく、仲間が一致団結し、ダンプ労働者のために全力で闘おう」と総括しました。全員で「団結ガンバリ」をおこない散会となりました。

冒頭に矢野副委員長より主催者のあいさつ、平田書記長より経過・会計報告・運動方針案・予算案の提案がされました。大会では使用促進運動現場での闘い、全国キャラバンにあわせた支部独自でおこな



全組員が要求闘争に確信を持ち、組織拡大を大きくすすめよう (7月31日埼玉県加須市内)

役員体制
執行委員長 三與木 剛
副執行委員長 8名
書記長 矢具野 卓哉
**使用促進闘争、組織拡大
確信を持って奮闘しよう**
埼玉北部支部は7月31日(日)、第37回定期大会を加須市内で開催し、60名の仲間が参加しました。

なっている国交省の出先機関や埼玉県県土整備事務所への要請行動の取り組みについて今後も更なる強化をしていくことを参加者全員で確認しました。また、組合員拡大についても執行委員会のみならず、組合員全員が意識を持ち、拡大に力を入れることを意思統一しました。最後に役員を選挙し、提案された諸議案は満場一致で採択され終了しました。来年の大会では1人でも多くの仲間を迎え入れて大会が成功するように組合員全員で力をあわせてやっていきたいと思います。

役員体制

- 委員長 野呂 武留
- 副委員長 田口 正
- 書記長 他2名
- 書記次長 坂本 秋一
- 同 深谷 研二
- 同 久志